



幕張ベイタウン オーケストラ

第10回 定期演奏会

2007年6月24日[日] 午後2時半開演

会場：ベイタウンコア・ホール

ウェーバー 歌劇「魔弾の射手」序曲

モーツァルト 交響曲第31番「パリ」



ブラームス 交響曲第1番八短調作品68

I Un poco sostenuto:Allegro

II Andante sostenuto

III Un poco allegretto e grazioso

IV Adagio:Allegro non troppo ma con brio

曲紹介

ブラームス 交響曲第1番について

19世紀の西洋音楽において、ベートーヴェンによって確立された交響曲というカテゴリーは、シューマンやメンデルスゾーンに受け継がれたとはいえ、ベートーヴェンという巨像に匹敵する作品に恵まれていたとは言えなかった。その一方ワーグナー、ベルリオーズ等によって新しい表現方式による管弦楽の分野が開拓されつつあった。しかしこのブラームスの作品により、改めて交響曲という分野が見直されることになり、後のブルックナー、マーラーに繋がっていくのである。

ブラームスがこの作品を書き上げたのは43歳となった1876年であった。その着想からはすでに21年が経っていたと言われていた。すでに大作曲家としての地位を築き上げていたにもかかわらず、最初の交響曲に相当の年月を要したことは、様々な見解がなされている。彼がベートーヴェンを尊敬していたこと、その上で交響曲の分野に作品を残すことに葛藤があったこと、完成した作品についてベートーヴェンを超えるようなものでなければならないという意気込みを持っていたこと、等々である。いずれにしてもこの作品は初演当初から聴衆に受け入れられ、「ベートーヴェンの第10交響曲」とまで言われることになる。これは最大の賛辞であると同時に、もう一つたいへん皮肉な意味をも含んでいる。すなわちベートーヴェンの影響から抜けきれない、古典以後としての新しいものがない、といった評価である。しかし今日の視点から見ればそのような評価は必ずしもあたらず、彼の技法や展開は十分に独創的で、そしてなによりもロマン的な抒情性に溢れている。ブラームスの交響曲は全部で4曲であるが、どれもたいへん個性的で同じような性格のものはない。これも全9曲をほぼ全く異なる視点から描き出したベートーヴェンと似通る。

特にこの第1番について言えば、「ブラームス好きな人は交響曲第1番を好まない」傾向にあるようだ。これは、この曲が他の交響曲以外の作品を含めても際立って異色なものであることを端的に示している。好みの問題はともかく、印象としては他の作品に比べて力みかえっているように見え、渾身の作品であることを誇示しているかのようである。

＃ 第一楽章の冒頭は突然出現する巨人のように表現される。ティンパニや低弦の一定の重苦しいリズムが、この曲が存在する意味を物語っているようである。全体的には激しい内容であり、非常に強固な構造を持っているが、やや靈感に乏しい。

＃ 第二楽章は打って変わってたいへん抒情的である。オーボエ、クラリネット、ホルンのソロや最後に現れるバイオリン独奏は旋律的で極めて美しい。またこの後色濃くなっていくブラームス特有の悲劇性や諦観といったものも垣間見ることができる。何よりもこれほどに人の心情の揺れを深いところで表現できる作品は稀であると言える。

＃ 第三楽章は他の3つの楽章とは明らかに性格が異なっており、とても穏やかである。ブラームスはドイツ音楽の正統的な継承者としてだけでなく、この後盛んになっていく国民音楽的な要素、すなわち民族的な香りを持つ独特な音楽を残したという面を持っていたが、この楽章もそういった要素を含んでいる。幾分舞踊的であり、どこか懐かしい。

＃ 第四楽章 長く独特な序奏部を持つ全体的にも長大なこの楽章は、内容的にも構成的にも空前絶後である。特に注目したいのは序奏の終わりに出現するトロンボーンのコラールであり、そこでは非常に厳かに奏されるが、同じテーマは曲の最後にも登場し、そのときは全楽器による壮大なコラールとなってよみがえる。

トロンボーンという楽器は古来聖なる楽器と言われ、音楽的にもそのような役割を与えられることが多かった。19世紀半ばには既に交響曲の一手段としての扱いになってはいたが、ブラームスがこの曲でこのように使用したということは、穿った見方をすれば、冒頭の部分はまさに古典へのオマージュであり、ベートーヴェンを始めとする古典音楽への尊敬と尊重の念を表し、最後の壮大なコラールにおいて自ら獲得した交響曲の最高峰の地位を高らかに宣言するものと見てとれる。他にもベートーヴェンの第9交響曲の有名な「歓喜の歌」の旋律部に似たテーマを持っていたり、ベートーヴェンには及ばないまでもこの時代においては稀な展開部の多様性、そして火山爆発を起こしたかのような衝撃的なコーダ等、聴きどころがたくさんある。そして何より情念と音楽的な技法が見事に融合し、完成された音楽性が今日においても未だ色褪せることなく我々を惹きつけてやまないものである。 石川 智久

出演者 ♪=コンサートマスター ※=エキストラ	ファーストバイオリン 	ヴィオラ 	フルート 	ホルン
	セカンドバイオリン 	チェロ 	オーボエ 	トランペット
コンダクター(指揮) 石川 智久		コントラバス 	クラリネット 	トロンボーン
			ファゴット 	パーカッション

曲別 管・打楽器演奏者

曲目\演奏者	フルート	オーボエ	クラリネット	ファゴット	ホルン	トランペット	トロンボーン
ウェーバー 歌劇「魔弾の 射手」序曲	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd: 3rd: 4th:	1st: 2nd:	1st: 2nd: 3rd:
モーツァルト 交響曲第31番 「パリ」	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	
ブラームス 交響曲第1番	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd:	1st: 2nd: 3rd: (Cfg)	1st: 2nd: 3rd: 4th:	1st: 2nd:	1st: 2nd: 3rd:

次回演奏会のお知らせ

第11回定期演奏会
 曲目 メンデルスゾーン/序曲フィンガルの洞窟
 チャイコフスキー/バイオリン協奏曲
 チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」
 日時 12月9日(日) 14:00開場14:30開演
 場所 美浜区民ホール

団員募集

募集パートについてはホームページをご覧ください。
 (定員等の場合でご希望に添えない場合もあります。あらかじめご了承ください。)
 街でチラシを見て興味を持った方、ホームページを見た方、
 お気軽にお問い合わせください。
 ホームページ http://homepage1.nifty.com/eneo/baytownorch_index.htm
 代表 石川智久 【Tel】043-274-7532 【Mail】dwhrb044@ybb.ne.jp

※お願い 演奏中の出入りや、ホール内での飲食・喫煙はご遠慮ください。また、お子様連れの方は他のお客様のご迷惑にならないようお願い致します。

ごあいさつ

いつもご来場いただきましてありがとうございます。

この街のオーケストラの演奏会も第10回の節目となる演奏会を迎えることができました。これも一重に、いつも演奏会で我々の拙い演奏を熱心に聴いてくださる皆様のおかげであり、また団員とご家族のご協力、このオーケストラの活動に関わっていただいている皆様の多大なるご支援によるものと、ただ感謝するばかりです。

5年前に恵まれた環境にあるこの街には是非クラシック音楽を演奏できるオーケストラを作りたいという思いで活動を始めましたが、街のオーケストラとして活動するということはいろいろな意味で未知であり、音楽に対する様々な思いを持っている者が一緒に活動することの難しさを改めて痛感した5年間だったと思います。しかし、私の思いとしましては、団としての目的をしっかりと持ち、そのために活動するということが明解であれば、少々の困難なことは自ずと解決するものと思っています。すなわち、音楽をより深く経験すること、そしてその演奏をもって地域の人々に何かしらの感動を伝えることです。アマチュアの音楽家は音楽に対してより自由な表現や活動が許されると考えています。そのいろいろな可能性を今後も追求していきたいと思っています。また将来の夢として、この地域を中心としたクラシックの音楽祭を開くことができるととても素晴らしいことではないかと思っています。

これまでの10回の演奏会は全てこちらのベイタウンコアで開催してきましたが、次回の第11回演奏会につきましては、初めての試みとして「美浜区民ホール」で行います。是非次回も足を延ばしていただければと思います。今後とも幕張ベイタウンオーケストラをよろしく願いいたします。ありがとうございました。

代表 石川 智久



第10回定期演奏会を迎えて

弦楽器

ファーストバイオリン

2002年4月、幕張ベイタウンにコアとホール

(音のよいピアノのために音響の設計がされたホール)が完成し、

2日間にわたってミュージックフェスタが開催されました。

できたばかりの「幕張ベイタウンオーケストラ」はラインベルガーの

9重奏曲を演奏しましたが、そのときの1stバイオリンは本当に上手で

聴いていた人を驚かせ私自身も感動しました。アマチュアのオーケストラの通例で当時のメンバーはほとんど残っていませんが、あのふくよかで艶やかな1stバイオリンの音色をめざして努力しています。1stバイオリンの人数はあまり多くはないにもかかわらず編成の大きな曲になってもお手伝いの方をできるだけ頼まないようにしていますが、それはコミュニケーションのとりやすい地域に密着した市民オーケストラのメンバーが作り出す和音を大切にしたいと思っているからです。そんなバイオリンのパートに参加していただける方はいつでも歓迎します。

「バイオリン教室」の
優しい先生(●さん・●●さん)と
愉快な生徒(マダム)達♪



セカンドバイオリン

VnII=弦楽器の中でも地味な作業が多く、隠れてしまいがちなパートです。

外からだ、何かガサガサやってるなA程度にしか見えず、印象はほとんど無いことでしょう。実は、刻み・裏打ち・シンコペーション・対旋律etc.と、職人的なことを地道にこなす、奥深く、とても面白いパートです。でも、とても難しい。本来ならば縁の下の力持ちとなって、弦の内声をしっかり支えなければならないのですが、その役割をなかなか果たせないでいる状態です。

そんな未熟な我々を、有難い事にオケの人たちは本当に気長に見守ってくれています。

想い起こせば、始まりはたった4名、技術・音量ともに、とても寂しい状態からのスタートでした。練習中にパートでフリーズすること数知れず。(よく皆で慰めあい、お陰で仲良しに)当然、演奏会なんて無我夢中のうちに終わってしまい、最初のころの記憶はありません。ようやく周りが見え始めてくると、技量・表現力の無さに、沢山のジレンマに陥ることになります。

一音一音の、なんて難しいこと！練習毎に反省しきりです。それでも、

音の渦の中に身を置く素晴らしさを一度味わってしまうと、

オケはやめられません。音楽が大好き！という気持ちでは

どのパートにも負けてはいない”VnII”なのです。

この5年の間にはメンバーも増え、結婚・出産

等々嬉しいことが沢山ありました。はるばる遠く

から夜行バスで駆けつけてくれる人もいます。

みんな、ステキな仲間達です。これから音楽

を楽しみつつ、牛歩の如くですが上達していけたら

と思っています。そうですね、第20回演奏会時には

“なかなかいい仕事しているね”と感じていただけるくらいに

進歩していきたいですね。(・あ、でもその時には新たに体力問題発生???)



ヴィオラ

見つけにくいパート No1. 存在感がないパート No1. 音が聞こえてこないパート No1. 知られていないパート No1. 何をやってもバレない？パート No1. …などなど。演奏会に来てくれた友人からよく言われる言葉です。私自身も中学の部活の勧誘時に暇そうなバイオリンの先輩のところに行ったら大歓迎されてよく分からないまま楽器を構え、「決まりだね、ヴィオラ。ありがとう！」と強引な（詐欺的な）出会いをしてから二十数年が経ちました。バイオリンをはじめ色んなパートと程よく混ざって楽しくやっています。このオケに入団して2年になりますが、アンサンブルの楽しさ・大切さを感じながら演奏しています。少しでもそんな気持ちが伝わる演奏会になればと思います。

●●●●●



チェロ

ベイタウン住人で構成されるチェロパート。かなりの充実振り！と思っているのは私達だけかもしれません。でも団結力の強さは他パートに負けませんヨ！現在首席さまが休団中なので、何人かで留守を守っています。

・●●●●さん：チェロパート、いえベイタウンオーケストラの良心。ベイオケ桂冠首席チェロ奏者です。今は仕事が忙しいらしく乗っていませんが、近々復帰との噂も！？

・●●●●さん：笑顔がとってもステキでチェロパートに一服の清涼剤を与えてくれる幸子さん。チェロの腕前も素晴らしい！もうすぐ2児のママになります。赤ちゃんのお世話しますから、早く戻ってきてね～。

・●●●●さん：勤務先のオーケストラでは団長もされているとか。他にも沢山のオケ、室内楽で活躍されています。チェロパート全体を優しく包みこむ、燦し銀の音色に注目です。

・●●●●さん：パートのみんなから厚い信頼を得ているトップです。（演奏についてです??）私（●●●●）とは大阪で同じオケに属していたことがあるらしい。（年齢も近いかも??）夫婦でチェロというのはきっと楽しいのだろうなあ。頼りにしています。。

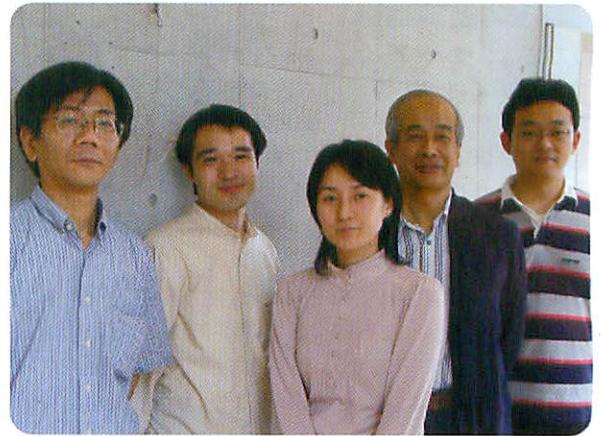
・●●●●さん：クラリネット吹きでもあり、実はバスクラリネットという特殊楽器をお持ちで、他のオケやプラスバンドで引っ張りだこのようです。このオケでもバスクラとチェロという二足の草鞋出演もなさいました。

・●●●●さん：真面目で誠実で几帳面、ソフトで優しいお人柄。音楽への造詣が深く、熱い情熱をお持ちです。Mr. A より OCTAVEUS☆の名を授けられた努力を弛まないお方です。

・●●●●さん：パート内で一番練習熱心な●●●●さん。チェロを初めて1・2年とは思えない腕前です。現在●●●●さんのかわいらしさと人懐こさに人気急上昇中！

・●●●●さん：我らチェロパートが信頼するパートリーダー。彼女の Einsatz の Aktion は大胆にして的確、後ろで弾く面々には大きな安心感を与えてくれています。●●●●さんと姉妹！じゃあないですよ。

★こんな愛らしい(?)チェロメンバーと一緒に演奏しませんか？



コントラバス

コントラバスは通常、舞台の右端、左端、たまに一番後ろあたりに陣取ります。立って弾いていることもあり、この立ち位置からは演奏中のメンバーの顔がよく見えます。そのせいもあってか、つつい、他のパートの演奏が気になります。トランペットの聴かせどころがくると「頑張れ…よし！うまいった（心の声）」オーボエの泣かせどころがくると「頑張れ、よし！ Good job！（心の声）」バイオリンのしびれさせどころがくると「頑張れ、よし！ブラボー！（心の声）」、コントラバスのめったにこない旋律がくると「ベース、控えめに…」指揮者からの無情なお言葉。本日も端っこで控えめに黙々と音楽を奏でさせていただきます。

第10回定期演奏会を迎えて

木管楽器

フルート

オーケストラのフルートといえば、華やかで美しく響くソロ。木管パートの牽引役。当然高い技術が要求されます。でも・・・「フルート歴3年?」「ブランク10年以上?」「アンサンブル経験ナシ?」「オケ経験ナシ?」

5年前、団員募集のチラシを見てやってきた面々に、パトリ（パートリーダー）は正直ちょっと焦りました。気を取り直して練習を始めると・・・

Aさん 「この指なんでしたっけ?」

Bさん 「ソから上は音出ませ〜ん。」

パトリ 「テンポ、遅れてますよ。」

Cさん 「えっ?そう?遅れてないよ。」

パトリ 「ん?1拍多い。この曲3拍子ですよ。」

Dさん 「あ〜。いつの間にか4拍子になってた〜。」

それでも私たちはみんなフルートが大好き♪自慢は練習量と仲の良さ♪指揮者の無茶な要求に涙したり、他パートの厳しい視線にめげそうになったりしながらも、(え?なにに?パトリの言葉が一番キツイって?) 励ましあって真面目に練習に取り組んできました。いつのまにか10回も演奏会に出られたなんて! ほぼ全員がソロも吹けるようになりました。演奏面での貢献度をカバーすべく雑用も頑張ってきた私たち。そろそろ演奏の方も期待してもらえ・・・ま・・・すよね?! 🍷🍷

オーボエ

みなさま、こんにちは。オーボエパートです。

オーボエは、高音域の木管楽器で、ステージの上では、弦楽器のすぐ後、木管楽器の前列の、向かって右側にいます。ちなみに、前列の左側はフルート、後列は左側がクラリネットで右側がファゴットです。「リード」という植物を乾燥させて小刀で薄く削ったものを楽器に装着し、これに息を吹き込み音を出します。「リード」の開口部の断面積は非常に小さく、演奏するには微細なコントロールが必要となりますが、うまくコントロールできた場合には、音色の表情や音量の変化は極めて自在であり、そのため、オーケストラでは、重要な役割を与えられ活躍することも多いです。しかし、その反面、「リード」および楽器そのものの不安定さなど、さまざまな不確実性を抱えており、近年は技術革新により、安定度の高い楽器も開発されているようではありますが、最大の問題である「リード」の不安定さは解消されておらず、失敗の発生頻度、影響度ともに大きく、苦勞の絶えない楽器でもあります。

今回も、こうした不確実性を適切にコントロールし、最大リターンをめざし努力いたしますが、何分にもハイリスク・ハイリターンな楽器でございますので、ご期待に添えない場合もございます。また、演奏中不測の事態が生じましても、驚かれることのございませんようご注意ください。何卒みなさま、暖かくお見守りくださいますよう、よろしく願い申し上げます。

クラリネット

ベイタウンオケが出来てもう5年。でも、まだまだひよこの私たち・・・その演奏中の心境を川柳にしてみました。

「フルートの 陰に隠れて そっと吹く」 by 駄目雄

「難所だけ 代吹きさせたい CDに」 by 小僧

(オイシイとこだけ吹きたいの♡)

「いや全部 おまかせしたい CDに」 by 姫

「代吹きは 我が家の棚に 勢揃い」 by 虎娘

(世界中のプロ奏者とお友達!?)



ファゴット

一人ぼっちの寂しい「ファゴット」パートより

私は、ベイオケに入って、ようやく3回目の演奏会を迎えられました。私の入団当時は、創設以来の団員K氏が頑張っており、偶然にも私とFgの師匠が同じ、共通の友人もいたなど、縁の深さを感じながら楽しく演奏活動に加わることができました。しかし、K氏の突然の海外出張により、前回の演奏会から「一人ぼっちの寂しいファゴットパート」となってしまった次第。という訳で、今回も、お2人のファゴット奏者に助けられています。

ファゴットというのは、木管セクションの低音を受け持ちます。いわば、ハーモニーの根幹を担当する楽器であり、特に2番パートは、低音の要となるわけです。ですから、オーケストラ編成の中で、小さなアンサンブルを堪能できるという魅力的な楽器(パート)であるとも言えるのです。でも、一人ぼっちなので、いつも主席、下手くそでも第1奏者、ソロパートなのです。

フルートとも、オーボエとも、クラリネットともすぐに仲良しになれるファゴットという楽器ですが、私は、2番パートを楽しみたいです。どなたか、こんな願いをかなえてくださる方を紹介してください。

さて、今回の演奏曲ですが、他の木管楽器のような「目立つ美しいソロメロディー」はほとんどありません。でも、いつも休みなく吹き続けています。私が欠席したある練習日に、「Fgがない木管セクションって、なんかマヌケな合奏ね」と言った人がいました。まさにFg(私?)に対する最高の褒め言葉と感激しました。本番では「いてマヌケ」にならないように頑張ります。

金管楽器

ホルン

ホルンは、丸く巻かれた長い管と大きなベル(=朝顔型の音の出口)が特徴です。くるくる巻かれた管を全部つなぐと10m以上になります。「広い音域と、柔らかい pp から荒々しい ff までの幅広い表現力を持つ楽器で、このためオーケストラでは金管楽器の中で一番出番が多く、オーケストラの通常の曲では4本で演奏されます。」・・・以上、一般的な説明。裏を返せば、「演奏が難しくて音が外れやすく、疲れるし、パート内で音程を合わせるのも大変。」ということです (>_<)・・・笑わないで聴いてやって下さい。

トランペット

こんにちは。トランペットパートです。

本日の演奏会は、4月に復団したDと、エキストラとして、Dの友人(悪友?)のTの2人が参加します。ベイオケのトランペットパートは、団員が1人、もしくは、不在といった永い不遇の時代を過ごしてきました。ですが、今日はそんなかつての暗い時代を感じさせないような存在感のある演奏ができるよう頑張りたいと思います。本来はかなり目立ちたがり屋の2人ですので、時折、皆さんの耳を引くいい音を奏でられるでしょう!?

※ミスで耳を引かなければいいけど・・・(^_^;) それでは本日はよろしくお願いたします。 ~~楽譜の裏面~~

トロンボーン

「トロンボーン」の ~~楽譜~~ です。ベイオケのちらし配付を担当しています。ベイオケとの出会いは、第二回演奏会です。小学校からよく知っている「娘の友達 Yちゃん」がオーボエを演奏するとのことで演奏会へ行きました。(そんな娘たちもいまは大学生です)もともとクラシック音楽を聴くことは好きですので、大変満足して帰宅しましたが、ふと頭に過るものがありました。

我が家には、二十数年間眠っているトロンボーンが、、、ベイオケに入れていただけるチャンスはあるのかな???入団オーディションがあればまず無理だろうと思いましたが、幸いにしてオーディションもなく無事、無審査で入れていただけました。まずは、みなさんのお邪魔、ご迷惑にならないようにと、今でも心掛けています。

ところで、私の奏者としてのレベルは大変低く八音記号など見たこともなく、#や♭がやたら多くて、今も悪戦苦闘中です。また、最盛期は五人もいたトロンボーンのパートも、いまは二人になってしまいました。このままですと、聴くに耐えない私の音がみなさんに聴こえてしまいます。是非、お知り合いでトロンボーン奏者の方がいましたら入団をお勧めください。多数の入団希望者をお待ちしています。いっしょに楽しく演奏しましょう!!

パーカッション

大学を卒業して”どこかパーカッションの入れるオケはないかな?”と探していたところ、このオケが出来たという話を聞き入団しました。第2回の演奏会から参加させていただき、いつの間にか10回を迎えることとなりました。学生の頃はオーケストラなのにパーカッションが9人もいたりして出番が少なかったので、ペイタウンオケに入って初めて夢の全曲のり!を経験することができました。

現在パーカッションは1人だけで寂しい時もありますが、楽器も買ってもらって、こんなにうるさいと迷惑かなあなんて思いながら好きなように叩かせていただいています。

本日のプログラムはオーケストラのティンパニの魅力がたっぷりお楽しみいただけるような曲がそろっています。つたない演奏でその魅力が伝えられるかどうか大変不安ですが、はりきって叩きたいと思います。前回のベト7に続き今回のブラ1も超絶技巧…正直に言うと手が回らなくてごまかしてる部分もいくつか(?)あります。しかも1番疲れている4楽章でパワーとテクニックを要求されます。最後までバチをすっ飛ばすことなく(緊張すると汗が…)叩ききれようがんばります。



編集後記

第10回定期演奏会記念プログラム作成に当たり、私達 Vn 仲良しトリオは、その重要な任務を果たすべく、ミーティングと称した指揮者とのランチ♪も果たし、普段言葉を交わす事の少ないパートの方々とも交流が持てました。また、ベイオケ発足からの活動記録をまとめたり、各パートのコメント原稿を読むことで、私達自身がベイオケの魅力を確認する機会が得られました。

この記念プログラム作成により、ベイオケ団員の結束が更に深まる事を願うと同時に、新たな仲間が増えるきっかけとなれば幸いです。

- ♪ 2001.11 **ベイタウンオーケストラ団員募集開始**

2002.3のベイタウン・コア開館と共にベイオケの活動が始動!
- ♪ 2002.4 **ベイタウンコア完成記念ミュージックフェスタ**
- ♪ 2002.9.29 **第1回定期演奏会**

出来たてのオケ。通し練習すら、ままならなかった頃が懐かしい・・・

コンマスの●さんは第1回ではビオラを演奏、第2回からコンマスに!!

モーツァルト 歌劇「魔笛」序曲
ヨハン・シュトラウスII世 喜歌劇「こもり」序曲
ベートーヴェン 交響曲第5番 八短調 「運命」
- ♪ 2003.5.18 **第2回定期演奏会**

この頃からレベルがUP!? オケらしくなってきました!

ベートーヴェン 「エグモント」序曲 作品84
シベリウス 交響詩「フィンランディア」 作品26
ドボルザーク 交響曲第9番「新世界から」 八短調 作品95
- ♪ 2003.11.9 **第3回定期演奏会**

当時ON AIRしていたドラマ「白い巨塔」でも「タンホイザー」が流れていたっけ♪

ロッシーニ 「セビリアの理髪師」序曲
ワグナー 「タンホイザー」序曲
ブラームス 交響曲第4番 八短調 作品98
- ♪ 2003.11.30 **ベイタウン コーラスの集い**

団員のテクニック向上を目指したアンサンブル大会。
緊張が解けた後の乾杯は大盛り上がり♪・・・主旨は飲み会でしたっけ?

モーツァルト アイネ・クライネ・ナハト・ムジークから第1楽章
- ♪ 2004.3 **第1回アンサンブル大会**
- ♪ 2004.6.6 **第4回定期演奏会**

「ドナウ」本番時、練習とは違うテンポに管メンバーびっくり!
「い、石川さんってば、ため過ぎっ!」

エルガー 「威風堂々」より第1番
ヨハン・シュトラウス 「美しく青きドナウ」
ベートーヴェン 交響曲第3番 「英雄」

「エロイカ」・・・指揮者がものすごい燃えていた事で記憶に残る曲。
それだけに「ドボ8」の指揮があっさりに感じたカナ?
- ♪ 2004.12.5 **第5回定期演奏会**

毎週水曜日「くるみ割り」の猛練習に燃えたフルート。
本当に素晴らしい演奏でした!

ワグナー 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
チャイコフスキー 組曲「くるみ割り人形」より小序曲・特徴のある舞曲・花のワルツ
ドボルザーク 交響曲第8番 ト長調 作品88
- ♪ 2004.12.18 **打瀬小式典**

打瀬小卒業生のオーボエ奏者 法月智子さんとベイオケの共演を果たしました。

エルガー 「威風堂々」
モーツァルト オーボエ協奏曲第1楽章
シベリウス 「フィンランディア」
アンダーソン 「クリスマス・フェスティバル」
- ♪ 2005.6.12 **第6回定期演奏会**

ベイタウン住民である佐々木一成さんに、「メンコン」ヴァイオリンソロを奏でて頂きました。

ウェーバー 「オベロン」序曲
メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 八短調 作品64
シューマン 交響曲第3番 変ホ長調 作品97 「ライン」

「フロコ」・・・1stVn(コンマス除く)が苦しんだ曲(涙)
合奏には来なくても(!?), Vnパート練には来て指導してくれた●さんに感謝!
だから遅刻も大目に見ちゃう♪
- ♪ 2005.11.27 **第7回定期演奏会**

「真夏」本番前、緊張のあまり楽屋で気絶寸前だったフルートの●さん(笑)、
素晴らしい演奏でした!

グリムカ 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
プロコフィエフ 古典交響曲 二長調 作品25 (交響曲第1番)
ブラームス 交響曲第2番 二長調 作品73
- ♪ 2006.4 **第2回アンサンブル大会**
- ♪ 2006.6.4 **第8回定期演奏会**

本番で、危うく止まりかけた「スコットランド」1楽章・・・
久々にみんな冷や汗かきました。

メンデルスゾーン 劇音楽「真夏の夜の夢」序曲 作品21
シューベルト 交響曲第8番 短調 D.759 「未完成」
メンデルスゾーン 交響曲第3番 イ短調 作品56 「スコットランド」
- ♪ 2006.12.10 **第9回定期演奏会**

自主的に行いはじめたセクション練習が功を奏し、各セクションのレベルがUP!

ワグナー 歌劇「タンホイザー」より大行進曲
グリーグ 「ペール・ギュント」第1組曲 作品46
ベートーヴェン 交響曲第7番 イ長調 作品92

「ベト7」・・・思いもよらず「のだめ」効果で盛り上がりました!
音楽ができる喜びを感じました!
いつもにも増して打ち上げも大盛り上がりでした♪
- ♪ 2007.6.24 **第10回定期演奏会**

今回はどんなハプニング(?)が起きるか、またまた楽しみです!

ウェーバー 歌劇「魔弾の射手」序曲
モーツァルト 交響曲第31番 「パリ」
ブラームス 交響曲第1番 八短調 作品68